

部落解放講座を開催します

テーマ 「部落」「差別」って何？

自分たちが思ってきた「差別」って何なのでしょう。「部落」って何なのでしょう。

もう一度立ち止まって考えてもいい時期ではないでしょうか。

【日時】平成19年7月14日（土）

午後1時30分～午後3時

【講師】鳥取市富桑隣保館指導職員

川口 寿弘 さん

【演題】「差別の現実」に深く学ぶ」

～部落差別は今～

【問い合わせ先】岩美町文化センター

☎72-1931

広げよう“人権文化”わがまちに！

= 同和問題・人権問題の啓発標語と 作文を募集 =

岩美町では「岩美町あらゆる差別をなくする条例」の精神を基本理念に同和問題をはじめとするあらゆる差別を撤廃するために各分野にわたり啓発に取り組んでいます。

明るい希望にあふれた人権文化の花咲く岩美町をめざして今年も同和問題、人権問題の啓発標語・作文を募集します。

みなさん、これを機会に差別のない人権尊重のまちづくりに参加しませんか？

ご応募お待ちしております。

【募集方法】同和問題・人権問題の意識啓発を旨とした標語・作文標語・作文とも1人各1点で、未発表・自作のもの

【応募資格】町内に居住・勤務・通学している人

【応募方法】役場総務課へ郵送またはご持参ください

【締め切り】9月20日（木）

【審査方法】審査委員会で審査し、入選作品を決定します

入選者は本人へ通知するとともに、作品を文集に記載します

【応募・問い合わせ先】

〒681-8501 岩美町大字浦富675-1

役場総務課 人権同和对策室

☎73 1411

人権問題学習シリーズ 39

【言葉は人の心を弾ませる】

ある会合で、畑地荒廃の問題が話題になっていたとき、こんな話を聞きました。「『おじいさんの作った野菜は新鮮でおいしい』と息子の嫁から言われて嬉しかった。この言葉を聞いて畑作りに意欲が湧いてきた」と。

畑作は草との戦いと言われますが、特にこの時期は草が次々と生えてきて、抜き取る労力は大変なものです。種子蒔きや苗の植え付け前の耕うんも、雨の日やその直後で土が濡れているときにはできません。肥料を買うにはお金も必要です。でも、お嫁さんのこの言葉で、畑作りの意欲が湧いたということです。

このお嫁さんの「新鮮でおいしい」という言葉の裏には、感謝の意味も感じられます。人は人から喜ばれると嬉しいものです。「生活の豊かさ」という言葉がありますが、立派な家に住み、高級な自家用車に乗り、新品の洋服を着ることも豊かさの一面ですが、最も大切なのは心の豊かさ・人間的豊かさではないでしょうか。

私たちは、人と関わりながら生活していますが、言葉は相手の心を傷つけるものとなったり、反対に、相手に喜びを与え心を奮い立たせるものとなるもので、その使い方はとても大切だと思います。家庭・地域・職場等での日々の生活において、お互いに明るい気持ちで過ごすために、言葉の使い方について考え工夫することは、私たち一人一人にでき、しかも大切なことだと思います。

